

GLOBAL  
CROSSVALUE  
PLATFORM

株主レポート

# まるべに

2023 WINTER No.135

## CONTENTS

01 社長メッセージ

02 財務ハイライト

03 グループニュース

- ・コラム 正新和「統合報告書2023」
- ・企業広告シリーズ  
「できないことは、みんなでやろう。」
- ・丸紅ギャラリー企画展

**Marubeni**





## 既存事業の強化に加えて、 厳選した成長投資によって収益基盤のさらなる強化に取り組む

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
はじめに、イスラエル・パレスチナ情勢において犠牲となられた方々に心よりお悔みを申し上げます。また、被害に遭われた方々や心を痛めている全ての皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

2023年11月2日に2023年度第2四半期連結決算を公表しました。2023年度上半期の純利益は2,513億円（前年同期比-633億円）、期初に公表した通期見通しに対する進捗率は60%と順調な決算となりました。これを踏まえ、純利益の通期見通しを4,200億円から4,500億円に上方修正するとともに、2023年度の1株当たり年間配当予想を+5円増配（期初予想の78円から83円に変更）いたしました。当社は中期経営戦略「GC2024」（2022～2024年度）において減配しない累進配当を採用しており、安定した配当を行いつつ、中長期的な利益成長により増配を目指すこととしています。今回通期見通しを上方修正したことに加え、非資源分野を中心に収益基盤の強化が着実に進捗している状況に鑑み、増配を決定しました。さらに、200億円を上限とする自己株式の取得も実施（2023年11月～2024年2月）いたします。

当社は現在さらなる成長に向けて戦略を実践するステージに立ち、既存事業の強化に加えて、厳選した成長投資によって収益基盤のさらなる強化に取り組んでいます。今後も非資源分野を中心に当社が競争力を持つ既存事業領域に成長投資を重点配分し、強化していきます。また新たな事業領域への取り組みも進めて参ります。

2022年度から始まったGC2024は2023年度上半期をもってちょうど折り返し地点を迎えました。主要国の経済や中東情勢など外部環境は不透明な状況が続きますが、丸紅グループ全体が一丸となって取り組み、お客様やパートナーの皆様と力を結集することで、大きな飛躍が実現できると考えています。株主の皆様におかれましても、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

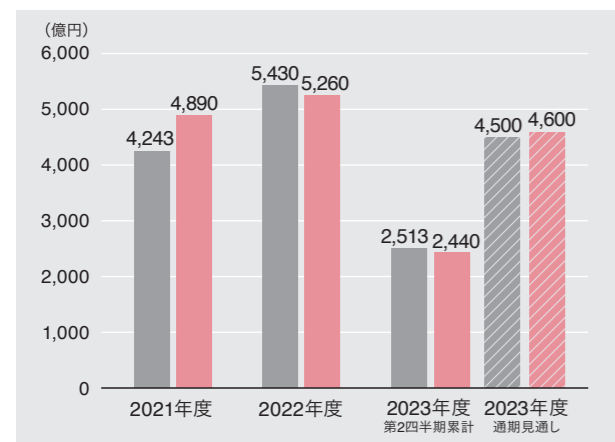
代表取締役社長 柿木真澄

# FINANCIAL HIGHLIGHT 財務ハイライト

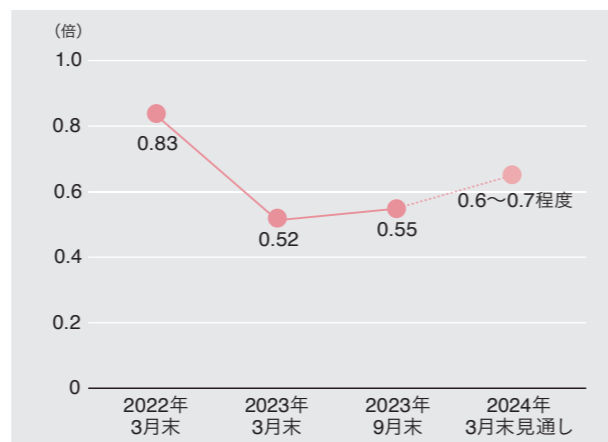
2023年度第2四半期累計期間の純利益は2,513億円(前年同期比-633億円)となり、期初に公表した通期見通し4,200億円に対して進捗率60%と順調な決算となりました。これを踏まえ2023年度通期の純利益見通しを4,500億円に上方修正(+300億円)しました。株主還元については、1株当たり年間配当予想を期初の78円から83円に増配しました。中間配当金は1株当たり41.5円で決議済みであり、12月1日より支払いを開始します。

さらに2023年11月～2024年2月にかけて、200億円を上限とする自己株式の取得を実施いたします。

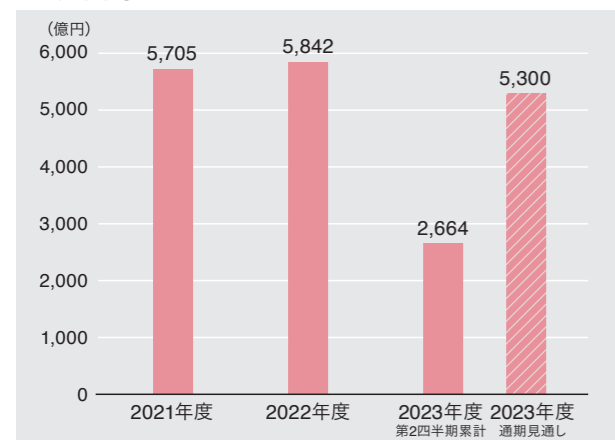
## 純利益・実態純利益



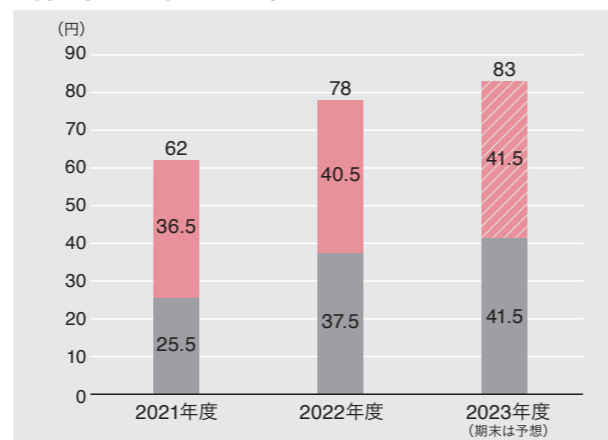
## ネット DE レシオ



## 基礎営業キャッシュ・フロー



## 1株当たり年間配当金



※純利益：親会社の所有者に帰属する当期利益 実態純利益：純利益から一過性要因を控除した概数

※2023年度見通し／2024年3月末見通し：2023年11月2日に公表した通期見通し

※基礎営業キャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除

※2022年度よりネット DE レシオの算出式における分母を「資本合計」から「株主資本」(「親会社の所有者に帰属する持分合計」)に変更。本資料では過年度分のネット DE レシオを置き換えて表示

更に詳しい情報は当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.marubeni.com/jp/ir/finance/>



## セグメント別純利益

(億円)	2022年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	増減	主な増減内容
ライフスタイル	34	49	+15	衣料品等の取引における増益 前年同期に計上した衣料品等の企画・製造・販売事業に関連する一過性損失の反動
情報ソリューション	40	24	-16	国内携帯電話販売事業の減益
食料第一	62	89	+27	インスタントコーヒーの製造・販売事業及び国内菓子卸事業の増益
食料第二	143	127	-15	肉牛処理加工・販売事業の減益等
アグリ事業	469	272	-197	農業及び肥料の価格下落を背景とする Helena 社及び MacroSource 社の減益
フォレストプロダクツ	43	31	-12	パルプ市況悪化に伴うムシパルプ事業の減益等
化学品	92	21	-71	石油化学品及び無機化学品取引の減益
金属	1,155	793	-363	商品価格の下落に伴う豪州原料炭事業の減益
エネルギー	287	191	-96	原油・ガス価格の下落等に伴う石油・ガス開発事業の減益 金利収支の悪化
電力	224	280	+56	海外発電事業の増益等
インフラプロジェクト	38	64	+26	海外水事業の増益
航空・船舶	178	121	-57	船舶市況の悪化に伴う船舶保有運航事業の減益 航空関連事業における需要回復に伴う増益
金融・リース・不動産	237	242	+5	国内不動産事業の増益等
建機・産機・モビリティ	119	157	+38	建設機械事業及び産業設備事業の増益
次世代事業開発	△ 24	△ 1	+23	中東における医薬品・医療機器販売事業の増益 前年同期に計上した貸倒費用の反動
次世代コーポレート ディベロップメント	△ 4	△ 14	-10	
その他	54	69	+15	
<b>全社合計</b>	<b>3,147</b>	<b>2,513</b>	<b>-633</b>	

※2023年度よりオペレーティング・セグメントの「情報・物流」を「情報ソリューション」に名称変更するとともに、「ライフスタイル」の一部を「金融・リース・不動産」及び「次世代事業開発」に、「情報・物流」の一部を「次世代事業開発」に、「エネルギー」の一部を「電力」に、「次世代事業開発」の一部を「化学品」に、「その他」の一部を「情報ソリューション」に、それぞれ編入しております。これらの変更に伴い、本資料では2022年度のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。なお、2023年度より新設された「新エネルギー開発推進部」(「エネルギー」「電力」「インフラプロジェクト」の一部を編入)の損益については、「エネルギー」「電力」「インフラプロジェクト」にそれぞれ配賦しており、これに伴い本資料では2022年度のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。

# 03 Group News グループニュース(2023年4月～2023年9月)

グローバルに広がる、丸紅グループの最新トピックやプロジェクトを幅広くご紹介します。

更に詳しい情報は当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.marubeni.com/jp/news/>



## エストニア

### 次世代事業開発本部

2023.7.10 リリース

次世代蓄電技術を有するエストニア国 Skeleton Technologies への追加資金拠出について



## アンゴラ

### フォレストプロダクツ本部

2023.5.22 リリース

アンゴラにおける森林再生プロジェクトの事業性検証に向けた覚書締結について



## インドネシア

### 次世代事業開発本部

2023.7.5 リリース

インドネシア最大規模のオンライン医療サービスへの事業参画について



## 日本

### 情報ソリューション本部

2023.7.4 リリース

アルテリア・ネットワークス株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ

### 建機・産機・モビリティ本部

2023.8.1 リリース

商用EV向けフリートマネジメントサービス新会社「EVolity株式会社」設立

### 電力本部

2023.7.18 リリース

使用済み太陽光パネルのリユース・リサイクル関連サービス開始について

### 航空・船舶本部

2023.8.30 リリース

空飛ぶクルマの運航実現に向けた事業性評価・検証の実施について

## メキシコ

### ライフスタイル本部

2023.8.21 リリース

メキシコ・カーメンテナンス事業会社の株式追加取得による子会社化について

## ペルー

### 新エネルギー開発推進部

2023.8.22 リリース

ペルーにおけるe-メタン製造・販売事業の詳細検討開始について



## カナダ

### 金属本部

2023.7.13 リリース

カナダ・アルバータ州における二酸化炭素回収・貯留事業への参画について

## 米国

### 食料第一本部

2023.4.13 リリース

米国フードテック・インキュベーター KitchenTown への出資について



### 建機・産機・モビリティ本部

2023.5.9 リリース

米国における自動車延長保証会社向け部品オンライン販売・モバイルインスペクション事業の買収について

### 金融・リース・不動産本部

2023.7.6 リリース

米国航空機リース会社 Aircastle Limited の増資引受けに向けた関連契約締結について

### 航空・船舶本部

2023.7.13 リリース

米国 DASI 社の株式取得による航空機アフターマーケット事業の拡充について





## 丸紅基金の2023年度(第49回)社会福祉助成先決定について

社会福祉法人丸紅基金(理事長: 柿木真澄)は、このほど2023年度(第49回)の社会福祉助成先を決定しました。本年度は合計1,049件の申請の中から、全国66の施設・団体に対し資金助成を実施します。

丸紅基金は1974年に丸紅の出捐により設立されました。1975年より全国の社会福祉施設・団体が必要とする設備、機器、車両、施設改修工事のほか、調査・研究活動等の資金援助として、毎年総額1億円の助成を続けています。49回目となる今回を含めた助成の実績は累計2,896件、総額49億5,000万円となります。

助成先は、障がい者、児童・青少年、高齢者関連の施設・団体など多岐にわたります。昨今の社会情勢を反映し、ひきこもり支援、女性保護、生活困窮者支援に従事する団体や、子ども食堂、フードバンク、地域コミュニティ活動など、民間基金の特質を生かし、公の機関の手が届きにくいと思われる団体、先駆的・開発的な案件には特に配慮して採択しています。

丸紅基金は、丸紅及び丸紅グループの役員・社員、元社員の有志を会員とする募金組織「100円クラブ」からの個人寄付金と、その同額を寄付する丸紅からのマッチングギフト、ならびに資産の運用収入を主な原資とし、個人と企業が協力して支える枠組みとなっています。加えて丸紅ギャラリーの入館料も、その全額が丸紅基金に寄付されています。今後も広く社会に貢献していくことを目指して、社会福祉活動を継続・推進していきます。

### <過去の助成実績>



子どもの居場所の改修工事



配食用電気自動車の購入



農業用トラクターの購入



2023年度(第49回)  
丸紅基金社会福祉助成先一覧



丸紅基金ウェブサイト

PICK UP

コラム  
—  
正新和

Integrated Report 2023

## 「統合報告書2023」を発行しました

2023年9月に「統合報告書2023」を発行しました。

本書では、丸紅グループの価値創造の歩みやこれまで培ってきた強み、これからの中長期的な企業価値向上に向けた戦略や取り組みについて、財務・非財務情報を整理して解説しています。今号では、価値創造のための具体的なビジネスの事例や、人財戦略についての説明なども拡充しました。当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひ一読いただければ幸いです。



丸紅が培った強み



CEOメッセージ



価値創造への取り組み



人財戦略



事業ポートフォリオ



統合報告書2023



[https://www.marubeni.com/jp/ir/reports/integrated\\_report/](https://www.marubeni.com/jp/ir/reports/integrated_report/)

## 企業広告シリーズ

### 「できないことは、みんなでやろう。」について



丸紅は、俳優・堺雅人さんを起用した広告シリーズ「できないことは、みんなでやろう。」を2023年9月より開始しました。

本広告シリーズでは、引き続き丸紅グループの在り姿「Global crossvalue platform」のスローガン「できないことは、みんなでやろう。」をテーマとしています。

新企業広告  
特設ページ



- できないことは、みんなでやろう。「紅丸」篇  
堺雅人さん扮する「紅丸」が仲間と共に大きな課題に立ち向かう姿を通じて、丸紅グループの在り姿「Global crossvalue platform」を表現しています。
- できないことは、みんなでやろう。「グリーン」篇  
丸紅が中期経営戦略の柱として掲げるグリーン戦略への取り組みを、堺雅人さんのナレーションに乗せてご紹介しています。

丸紅はステークホルダーの皆様と力を合わせるにより社会課題を解決し、新しい価値の創造を通じて、より良い社会の実現を目指します。



## 丸紅ギャラリー企画展

丸紅ギャラリー(東京・竹橋)

### 企画展

#### 源氏物語 よみがえった女房装束の美

2023年12月1日(金) ▶ 2023年12月28日(木)

(共催) 実践女子大学

源氏物語に描かれた、これまで誰も目にしたことのない平安朝の女房装束を実践女子大学が5年の歳月をかけ再現しました。『源氏物語』「若菜 下」の六条院の女楽に登場する明石の君の装束を、完成に至るまでの研究過程とともに初公開いたします。



### 企画展

#### 「ふしみ殿御あつらへ」小袖裂と復元小袖

墨書と裂から分かる桃山時代の小袖制作

2024年1月23日(火) ▶ 2024年2月22日(木)

丸紅株式会社設立50周年を記念して1999年末に完成した復元小袖を、丸紅主催の展覧会としては16年ぶりに展示公開いたします。丸紅コレクションの<染分練緯地島取りに柳模様小袖裂>とその他の裂を参考に、当時の染織技法・工程を約3年の歳月をかけ、学術的な観点から解き明かしました。

(開館時間) 10:00~17:00(受付終了16:30)

(休館日) 日曜日、祝日

丸紅ギャラリーでは、2023年12月から2024年2月にかけて、平安時代と桃山時代をテーマとした染織作品の展覧会を連続して開催いたします。

12月の「源氏物語 よみがえった女房装束の美」では、実践女子大学が私立大学研究ブランディング事業「源氏物語研究の学際的・国際的研究拠点の形成」の一環事業として再現した源氏物語に描かれた平安時代の女房装束を展示します。関係各分野の専門家が物語や絵巻、有職故実書を頼りに完成した作品であり、本プロジェクトの学問上の寄与、技術の検証、継承の意義深さをご覧ください。

翌1月からは、希少な桃山時代の染織作品である<辻が花>を中心に展示をいたします。丸紅コレクションの<染分練緯地島取りに柳模様小袖裂>は「ふしみ殿御あつらへ」の墨書を有することを根拠に、豊臣秀吉の側室である淀が着用した小袖の一部ではないかと長らく語られてきましたが、近年この説に対する疑問が呈されたことから、墨書の意味するところを再考する必要が説かれています。本展では、復元小袖の公開とその制作事業の紹介と合わせ、墨書が記された理由とそれが意味する目的を、桃山時代から江戸時代にかけての呉服注文・制作の観点で紐解きます。

1.再現装束 / 2.紅萌黄練緯地片身替州浜取草花模様小袖 / 3.染分練緯地島取りに柳模様小袖裂



Marubeni Gallery  
丸紅ギャラリー (東京・竹橋)

2024 1/23 火  
2/22 木



## 丸紅ギャラリー企画展

「ふしみ殿御あつらへ」小袖裂と復元小袖

墨書と裂から分かる桃山時代の小袖制作

※展覧会詳細は、P.10をご参照ください。

## 会社概要 (2023年9月30日現在)

会社名 ..... 丸紅株式会社 (英文: Marubeni Corporation)  
創業 ..... 1858年5月  
設立 ..... 1949年12月1日  
資本金 ..... 263,599百万円

丸紅公式SNS



## 株式事務に関するご案内

- 未払配当金のお支払い  
みずほ信託銀行・みずほ銀行
- 住所変更等の各種手続き  
【証券会社に口座をお持ちの株主様】  
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。  
【証券会社に口座をお持ちでない株主様 (特別口座に記録されている株主様)】  
みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324

### ● 株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求)

お取引の証券会社または下記みずほ信託銀行までお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324

## 株主メモ

事業年度 ..... 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 ..... 毎年6月

期末配当金支払株主確定日 ..... 毎年3月31日

中間配当金支払株主確定日 ..... 毎年9月30日

株主名簿管理人および

特別口座管理機関 ..... みずほ信託銀行株式会社

〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

同事務取扱場所 ..... みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部

〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

単元株式数 ..... 100株

上場取引所 ..... 東京

公告方法 ..... 電子公告

(当社の電子公告は、当社ウェブサイトの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

<https://www.marubeni.com/jp/koukoku.html>

証券コード ..... 8002

ウェブサイト ..... <https://www.marubeni.com/jp/>

株主レポート まるべに No.135 (年2回発行) 2023年11月30日発行 発行人/田島知淨

発行/丸紅株式会社 財務部 〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号



環境保全のため、環境に配慮した植物油インキで印刷しています。

将来見直しに関する注意事項: 本紙に掲載されている予測や将来の見直しに関する記述等は、本紙の発行日現在において入手可能な情報やそれをもとにした当社の仮定・判断に基づくものであり、将来の業績を保證するものではありません。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本紙の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本紙に掲載されている予測や将来の見直しに関する記述等についてアップデートして公表する義務を負うものではありません。